



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 グループ戦略企画部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	82,362	△5.3	3,562	△28.3	3,460	△27.9	2,636	△4.5
2020年3月期第3四半期	86,961	10.7	4,966	63.9	4,800	△41.1	2,759	△45.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,504百万円 (△7.5%) 2020年3月期第3四半期 2,708百万円 (△47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	102.56	—
2020年3月期第3四半期	105.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	148,716	93,506	56.4	3,263.15
2020年3月期	141,705	92,395	58.4	3,218.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 83,867百万円 2020年3月期 82,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—		
2021年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.0	4,800	△1.0	4,800	△3.7	2,400	△0.9	93.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、【添付資料】8ページ「2.（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	28,333,480株	2020年3月期	28,333,480株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,632,138株	2020年3月期	2,631,827株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	25,701,532株	2020年3月期3Q	26,063,460株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきまして、当社グループは、各社間の連携を推進し、引き続き既存事業の基盤強化と成長領域の事業拡大に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、世界経済の先行き不透明感は依然として強く、当社グループにおきましても各社の販売状況への悪影響が続いております。

このような状況下、フードサイエンス事業の増益、中国関連会社（持分法適用）における販売量の増加による増益などの好要因もあった一方で、受取ロイヤリティーの減少、不動産事業における長田工場跡地の再開発工事の実施、サトウキビ不足によるタイ国関連会社（持分法適用）収益の回復遅れなどにより、グループ全体といたしましては、前年同期比で減収減益となりました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、4月に約13年ぶりの安値となる9セント台まで急落した後、新型コロナウイルスの感染動向と砂糖需給を巡る思惑が交錯しながら、一時は緩やかな上昇基調で推移いたしました。9月には世界的な金融緩和による投機資金の流入や、タイ国の干ばつによるアジア地域の現物需給の逼迫などにより、14セント前半から15セント半ばの狭いレンジにて小刻みに上下する展開を経て、15セント半ばで当第3四半期末を迎えました。

販売面では、経済活動との両立のための政府の各種施策などにより、一時的に業務用・家庭用の出荷が上向いたものの、その後の新型コロナウイルス感染再拡大による帰省自粛や飲食店への営業時間の短縮要請などにより、土産物や外食向けといった業務用需要が回復するまでには至らず、生産面で安定操業に努めたものの減収減益となりました。

連結子会社では、生和糖業(株)は、サトウキビ生産量の増加や原価率の大幅改善などにより増収増益となりました。北海道糖業(株)は、原料でん菜の豊作に伴い生産量が増加した一方、糖度の低下や製造コストアップに加え、世の中の自粛ムードに伴う販売減退の影響も受けた製品在庫コスト等の負担も増え減益となりました。SIS' 88 Pte Ltdは、シンガポール国内の外出規制による家庭用需要の増加があったものの、収益回復までには至らず減収減益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高65,975百万円、営業利益2,032百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 10.39セント 高値 15.66セント 安値 9.05セント 終値 15.49セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチノースの国内向け販売量が一部持ち直し、さとうきび抽出物の除菌用及び飼料用需要が国内外ともに伸長したことから、前年同期並の売上高を計上し、増益となりました。

連結子会社では、新型コロナウイルス感染拡大の影響は否定できず減収となりましたが、(株)タイショーテクノスは、前期に実施した生産集約に伴う原価率の改善などにより増益となりました。ニュートリー(株)におきましても、販売管理費の改善が奏功し増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高14,915百万円、営業利益873百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、前年同期並の売上高を計上いたしましたが、賃貸施設の修繕工事の実施などにより減益となり、売上高1,471百万円、営業利益656百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は82,362百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は3,562百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

営業外損益においては、フィンゴリモド「FTY720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティーを450百万円計上いたしました。なお、当社の共同特許権者である田辺三菱製薬(株)とNovartis Pharma AG（以下「ノバルティス社」という。）との間で仲裁手続きが進行中であることを受け、ノバルティス社が契約の有効性に関し疑義を提起している部分につきましては、引き続き収益としては認識しておりません。また、持分法による投資損失を計上した他、当第3四半期連結会計期間中に政策保有株式の一部を売却し、投資有価証券売却益を特別利益として計上いたしました。以上により、経常利益は3,460百万円（前年同期比27.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,636百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

なお、2020年3月25日に公表いたしました大日本明治製糖株との経営統合につきましては、協議・検討を重ねた結果、その実施について最終合意に達し、同年10月15日付で統合基本契約を締結いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

[連結財政状態の変動状況]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比7,011百万円増加し148,716百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比7,851百万円増加し65,008百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加5,374百万円、原材料及び貯蔵品の増加3,762百万円等があった一方で、商品及び製品の減少2,093百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比840百万円減少し83,708百万円となりました。これは主として、繰延税金資産の増加738百万円、関係会社出資金の増加291百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少864百万円、投資有価証券の減少900百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比5,900百万円増加し55,210百万円となりました。これは主として、その他固定負債の増加3,961百万円、支払手形及び買掛金の増加1,864百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,110百万円増加し93,506百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益2,636百万円、剰余金の配当1,285百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日に公表の通りであります。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大がより深刻化するなどし、連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,520	20,894
受取手形及び売掛金	9,280	10,666
商品及び製品	22,634	20,541
仕掛品	1,342	1,457
原材料及び貯蔵品	4,947	8,710
その他	3,437	2,744
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	57,156	65,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,418	40,578
減価償却累計額	△25,170	△25,263
建物及び構築物(純額)	15,248	15,314
機械装置及び運搬具	85,801	86,827
減価償却累計額	△66,973	△68,865
機械装置及び運搬具(純額)	18,827	17,962
工具、器具及び備品	2,711	2,773
減価償却累計額	△2,189	△2,256
工具、器具及び備品(純額)	521	516
土地	18,148	18,148
リース資産	915	1,452
減価償却累計額	△587	△821
リース資産(純額)	327	630
建設仮勘定	788	1,376
有形固定資産合計	53,862	53,950
無形固定資産		
のれん	4,639	3,961
その他	3,017	2,839
無形固定資産合計	7,657	6,801
投資その他の資産		
投資有価証券	11,413	10,512
関係会社出資金	2,191	2,482
長期貸付金	20	22
退職給付に係る資産	210	336
繰延税金資産	1,881	2,620
その他	7,365	7,029
貸倒引当金	△53	△48
投資その他の資産合計	23,028	22,956
固定資産合計	84,548	83,708
資産合計	141,705	148,716

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,044	9,909
短期借入金	6,103	9,250
1年内返済予定の長期借入金	2,120	1,970
リース債務	99	277
未払費用	4,035	3,094
未払法人税等	2,424	1,751
役員賞与引当金	36	51
資産除去債務	28	5
その他	3,618	3,700
流動負債合計	26,510	30,010
固定負債		
長期借入金	11,330	9,852
リース債務	253	376
繰延税金負債	471	400
役員退職慰労引当金	223	107
退職給付に係る負債	2,893	2,859
資産除去債務	282	297
その他	7,343	11,305
固定負債合計	22,799	25,199
負債合計	49,309	55,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	79,469	80,820
自己株式	△5,215	△5,216
株主資本合計	82,628	83,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483	544
繰延ヘッジ損益	△197	15
為替換算調整勘定	△63	△548
退職給付に係る調整累計額	△123	△122
その他の包括利益累計額合計	99	△111
非支配株主持分	9,668	9,638
純資産合計	92,395	93,506
負債純資産合計	141,705	148,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	86,961	82,362
売上原価	66,222	63,238
売上総利益	20,738	19,124
販売費及び一般管理費		
配送費	3,838	3,836
給料及び賞与	3,191	3,212
役員賞与引当金繰入額	30	30
退職給付費用	129	170
その他	8,583	8,311
販売費及び一般管理費合計	15,771	15,562
営業利益	4,966	3,562
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	97	75
受取ロイヤリティー	1,130	454
雑収入	156	189
営業外収益合計	1,385	720
営業外費用		
支払利息	63	70
固定資産除却損	52	19
設備撤去費	259	163
持分法による投資損失	1,038	490
雑損失	137	79
営業外費用合計	1,551	822
経常利益	4,800	3,460
特別利益		
投資有価証券売却益	209	1,717
固定資産処分益	14	18
受取保険金	261	—
補助金収入	362	—
特別利益合計	847	1,736
特別損失		
固定資産除却損	—	306
固定資産圧縮損	328	—
環境対策費	97	—
特別損失合計	425	306
税金等調整前四半期純利益	5,222	4,889
法人税、住民税及び事業税	3,087	2,935
法人税等調整額	△1,027	△821
法人税等合計	2,060	2,113
四半期純利益	3,162	2,775
非支配株主に帰属する四半期純利益	403	139
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,759	2,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,162	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	82
繰延ヘッジ損益	85	△53
為替換算調整勘定	△258	△308
退職給付に係る調整額	△35	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	13
その他の包括利益合計	△453	△271
四半期包括利益	2,708	2,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,331	2,425
非支配株主に係る四半期包括利益	377	79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用連結子会社は、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,219	15,280	1,461	86,961	—	86,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	109	49	190	△190	—
計	70,250	15,389	1,511	87,151	△190	86,961
セグメント利益	3,619	649	697	4,966	—	4,966

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,975	14,915	1,471	82,362	—	82,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	116	56	203	△203	—
計	66,005	15,031	1,528	82,565	△203	82,362
セグメント利益	2,032	873	656	3,562	—	3,562

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。